



2021年11月2日

各 位

会 社 名 王子ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 加来 正年
 (コード: 3861、東証第1部)
 問合せ先 取締役専務グループ経営委員
 コーポレートガバナンス本部長
 磯野 裕之
 (TEL. 03-3563-1111)

2022年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と

実績値との差異に関するお知らせ

2021年8月3日に公表しました2022年3月期第2四半期累計期間(2021年4月1日~2021年9月30日)の連結業績予想と本日公表の実績値において、下記のとおり差異が生じたのでお知らせします。

記

1. 2022年3月期第2四半期累計期間(2021年4月1日~2021年9月30日)連結業績予想と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	700,000	50,000	50,000	30,000	30.29
実績値 (B)	708,529	63,681	68,835	45,582	46.02
増減額 (B-A)	8,529	13,681	18,835	15,582	
増減率 (%)	1.2	27.4	37.7	51.9	
(ご参考) 前年同期実績 (2021年3月期 第2四半期累計期間)	652,423	29,306	22,097	10,289	10.39

2. 連結業績予想と実績値の差異の理由

2022年3月期第2四半期累計期間の連結業績については、新型コロナウイルスの感染拡大により停滞した経済活動の再開が進むにつれ、製品の需要回復が当初の想定より上回って推移したことや、グループ全体でコストダウンに取り組んだこと等により、営業利益は前回公表の予想を上回りました。また、営業利益の増加に加え、外貨建債権債務の評価替えによる為替差益の発生等により、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益についても、上記のとおり前回公表の予想を上回りました。

なお、2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、原燃料価格の高騰や今後の新型コロナウイルス感染症の動向等による影響が不透明な状況であることを考慮し、前回公表の予想を据え置いています。

※ 上記に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上